

富士通フロンテックグループ環境方針

2016年5月30日 改定
2010年4月1日 制定

理念

富士通フロンテックグループは、富士通グループ環境方針を順守し『環境にやさしい企業活動』を基本理念として、地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つであると認識して推進します。

ICT企業としてその持てるテクノロジーと創造力を活かし、社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動に関わる環境法や環境上の規範を順守するとともに、自主的な地球環境保全活動に努めます。さらに、豊かな自然を次の世代に残すことが出来るよう、すべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追求していきます。

行動指針

- (1) 製品・サービスのライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
- (2) ICTプロダクトとソリューションを通じ、お客さまや社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献する。
- (3) 省エネルギー、省資源および3R(リデュース、リユース、リサイクル)を強化し、トップランナー製品を創出する。
- (4) 活動、製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、環境関連法規制、その他の要求事項、自主基準等を順守しCSRを果たす。
- (5) 活動、製品及びサービスにかかわる環境影響評価結果に基づき、汚染の予防及び継続的な改善を図る。
- (6) 『社会への貢献』と『自らの事業活動』において、環境目的・目標の設定、見直しを行い、全員参加で一人ひとりが気候変動対策や生物多様性保全を始めとした地球環境保全に努める。



FUJITSU

富士通フロンテック株式会社

代表取締役社長